

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成29年度)

【様式1】

施設名	県立平和台公園・宮崎県総合文化公園
指定管理者	株式会社馬原造園建設
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年間)
県所管部課	県土整備部 都市計画課

1 施設利用状況

指標	H29	H28	H27	増減理由等
平和台公園 (単位:人)	47,703	49,972	55,076	平和台公園は、年平均で約5万人が訪れており、平成29年度は7、8月の猛暑により利用者数が減少したことから、前年度より減少している。総合文化公園は、平均で約4万6千人が訪れており、平成29年度は桜の花見や、遠足利用により前年度より増加している。
総合文化公園 (単位:人)	50,918	44,212	45,521	
コメント	両公園における桜のライトアップなど様々なイベントを開催し、魅力向上に努めている。天候や花の開花状況により利用者が増減する傾向にあるが、利用者ニーズを捉えた管理運営を行っている。引き続き、利用者増加に繋がる幅広い事業の展開が期待される。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	H29	H28	H27	支出	H29	H28	H27
指定管理料	82,400	82,400	82,600	人件費	50,594	51,424	51,911
自主事業等	161	472	341	需用費・役務費	16,955	15,949	16,824
				委託料・使用料等	8,837	9,059	8,548
				経費	4,130	4,040	3,352
				自主事業等支出	1,597	2,099	2,006
合計(①)	82,561	82,872	82,941	合計(②)	82,113	82,571	82,641
収支差額(①-②)	448	301	300				
コメント	公園運営管理情報システムを活用した維持管理の効率化や、植栽草花の生産者への直接発注による購入費縮減により、費用の縮減を図っている。施設の収支状況は適正である。						

3 管理運営状況

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	園内清掃、トイレ清掃、管理事務所・はにわ館清掃、照明器具清掃、集水枳清掃、園路洗浄
	保守・点検	遊具点検(専門業者年3回、通常点検月1回)浄化槽点検(適時)、照明及びタイマー点検(月1回)等
	警備	巡回パトロール(2回/日)・夜間巡回警備
	修繕	園路、トイレ手洗いセンサー、水銀灯、遊具、ベンチ等の修繕
	備品等管理	備品点検(1回/月)、備品台帳による管理
	安全対策	安全会議・公園非常管理マニュアル勉強会(1回/月)、近隣小学校PTAとの連携による「おたすけハウス」加入、公園ハザードマップの随時更新、支障樹木・枝等の剪定
企画運営業務	その他	植栽管理業務(樹木・芝・花壇等)、動物飼育業務(鳩)、施設維持管理業務(園路・遊具・トイレ他)
	サービス提供体制整備	利用者アンケート調査、憩いグッズ(バドミントンセット、縄跳び、ブルーシート等)の貸出、職員研修実施、公園運営管理情報システムの活用
	イベント等ソフト面充実	花の無料配布、ツリーイング体験会、フラワーアレンジメント教室、苔玉づくり教室、観望会、公園マップの改訂、HP作成・更新等
	施設設備等ハード面充実	レストハウス周辺携帯電話用アンテナ設置、管理事務所不在時の職員転送電話(緊急時体制の充実)、文化公園トイレに意見交換掲示板設置
管理運営体制	自主事業時のアンケート実施、公園ボランティア協議会、レストハウス協議会、文化公園3館協議会、花菖蒲ネットワークづくり、パークマスター友の会	
管理運営体制	有資格者の適正な配置(造園施工管理技士、土木施工管理技士、ピオトップ)、資格取得に向けた研修会参加、個人情報保護教育	
コメント	公園運営管理情報システムの運用、及び公園利用者満足度調査等(アンケート調査、利用の声等)により、利用者のニーズを迅速かつ的確に把握してその後の事業展開に反映させると共に、施設の適正な保守点検や植物の適切な維持管理に役立っている。両公園で公園ボランティア制度を導入し植栽管理の一部を協働で行うなど、県民との協働にも積極的である。適切な人員配置を行うことにより利用者の安全確保に努めていることなど、全般的に施設の管理運営は適切に行われている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	来園者アンケート調査、イベント時アンケート調査	
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等	
(平和台公園)マナーの悪い(犬のフーリード・糞放置等)利用者を注意して欲しい。	注意・指導及び巡回の強化により対応した。	
(文化公園)駐車場に目的外駐車車両が多い	注意・指導及び巡回の強化により対応した。	

## 5 総合評価

評価コメント	利用者のニーズ及び苦情等の把握に努めると共に、その結果を利用者サービスの向上に繋げるべく努力し、利用者に対し安心・安全で快適な環境を提供している。また、障がい者就労支援や「宮崎の教育」アシスト事業等の地域貢献にも積極的に取り組んでいる。必要な管理運営体制のもと、適正な管理運営が行われている。
今後の課題と対応	総合文化公園では、文化施設管理者(県立美術館等)との更なる連携を図り、より一体的な管理に取り組むことが求められる。また、両公園が近傍に位置している特色を活かし、相互連携を図っていくことが期待される。